

田園ラグビースクール ガイドライン

田園ラグビースクール(以下田園RS)に関わる保護者、コーチが共に子供たちの成長を願い、楽しいスクールライフを送るため、以下ガイドラインをよく読みご理解ください。

創立以来28年、スクールの様々な事象、解釈が変化してきました。今後も社会環境や価値観の変化・進化と直面するはずですが、創立時に赤間会長が掲げた「ラグビーを通じて少年少女が健全な成長を遂げる、その上でできればラグビーを好きになってもらう」という不変の趣旨をベースに、守り続けること、進化させることをコーチと保護者の間で確認、共有して、私たちのスクールの素晴らしいものにしていきましょう！

田園RSの成り立ち

- ・田園RSは赤間会長が設立した“私立”のラグビースクールです。自治体等のバックアップはありません。(2018年にNPO法人化)
- ・スタッフ、コーチすべてボランティアで運営しています。

活動場所・内容

田園RSは専用グラウンドを持たない団体です。毎週の活動場所が確約できないような厳しい時期を経て、現在は清水建設様のご厚意で毎週日曜日に荏田グラウンドで活動しています。

- ・横浜市ラグビー協会から割り当てがあれば新横浜公園、保土ヶ谷公園等を利用
- ・日本精工鷺沼グラウンド、谷本公園などは抽選申込みで利用枠を確保しています。
- ・グラウンドを確保できた場合や対外試合などで土曜日、祝日に活動することがあります。
- ・県大会、交流試合などで神奈川県内、関東近県へ遠征することがあります。
- ・年に5回『コーチ会議』が開催されます。コーチと保護者ヘッドは必ず参加してください。
- ★4月(新年度)、7月(夏合宿事前)、8月(夏合宿反省会)、12月(年末)、3月(年度末)
- ★コーチ会議は田園RSのクラブハウス「パティオ」で開催しています。

スクール連絡

- ・スケジュールは毎月、お便り、メール双方で配信、HPにも記載しております。都合により活動内容が変更になる事がありますのでご注意ください。
- ・雨天などで中止の場合は当日早朝までに判断、メール配信、HPでお知らせします。
- ・遠征や試合観戦、イベント参加などの出欠集約は必ず期限内に回答をお願いします。

出欠連絡

HP上「出欠登録」にアクセス、「ちょー助」に出欠入力をお願いします。

練習メニューや試合のチームエントリーの参考にさせていただきますので、一旦土日すべての予定を入力してください。変更があればその都度修正入力をお願いします。

欠席の場合は「ちょー助」入力とあわせて、必ず選手本人からヘッドコーチに報告をお願いします。急な欠席はヘッドコーチ・保護者ヘッド宛に電話、メール、SNS等で連絡をお願いします。

荇田、鷺沼グラウンドの利用に関して

田園 RS 専用のグラウンドはなく、荇田と鷺沼は企業施設を様々な契約の上お借りしています。貸主、近隣住民からのクレームがないよう判断、行動をお願いします。

<禁止事項>

- ・車、バイクでの来場(来場者用の駐車、乗降車スペースはありません)
 - ・送迎による近隣での乗り降り(安全確保、近隣住民の苦情を考慮)
 - ・近隣商業施設への駐車(過去にもクレームが発生しています)
 - ・開門前の来場(荇田は 9:00 開門。9:30 の練習開始に合わせて来場を！)
 - ・グラウンドおよび施設内での飲食→水筒の中身は水のみでお願いします
 - ・荇田グラウンド防球ネットへのキック、ボール投げ、寄りかかり
 - ・施設内、施設周辺での喫煙
 - ・立入禁止エリアへの立入り(荇田:植え込み等、鷺沼:クラブハウス付近の斜面芝生)
 - ・グラウンドエリア内へハイヒールなどかかとが硬い靴での立入り
- また、どこのグラウンドでも、場内移動の際はお手数でもフェンス際を移動していただき、選手が活動するグラウンド内をショートカットしないようにお願いします。
- ・練習・試合観戦時椅子に座っていただいて結構ですが本・雑誌などを読んだりせず、選手のがんばりをしっかり観察し成長を楽しみましょう。

駐禁当番

荇田、鷺沼で活動の際にご協力をお願いいたします。

グラウンドへ向かう選手の安全確保、近隣住民からの苦情対策として、交代制で駐禁当番をお願いしております。グラウンド利用に支障をきたさぬためにもご理解、ご協力をお願いします。

また、駐禁当番の方は朝のあいさつも元気をお願いします。

駐禁当番の活動は、近隣の方々からお褒めの言葉をいただくこともあります。地域に信頼され、期待されるスクールを目指せるといいですね。

◎駐禁担当集合時間 荇田 9:00、鷺沼 8:40

グラウンド利用や送迎のルール、駐禁当番と堅苦しく感じることもあるかもしれませんが、「1 回だけ」、「今だけ」、「ちょっとくらい」の気持ちで行ったことがクレームにつながり、300 人の選手たちがラグビーを楽しめる場所が来週から使えなくなることを想像してください。これは決して大きなことではありません。過去に毎週の活動場所が確約できない時期があり、現在の素晴らしい活動環境は多くの方の協力でようやく手に入れたものです。この環境を失う可能性がある行動は慎み、ルールを守ることと安全確保にご理解とご協力をお願いします。

写真・動画、SNS

お子様の写真や動画はたくさん撮って残してあげてください。尚、荇田グラウンドで撮影した写真を SNS 等にアップする場合は「清水建設グラウンド」という表記はご遠慮ください。

また、広報担当者が写真、動画を撮影し HP、チラシや SNS に掲載しますのでご了承ください。

保護者の役割

①グラウンドでは「選手とコーチの世界」を作ることにご協力を

選手が一旦グラウンドに入ったら、保護者のみなさまは周囲で見守ってください。カバンを並べる、水筒やヘッドキャップの準備をする、帰り支度はすべて選手本人にやらせてください。自分の持ち物に責任を持つことで、忘れ物防止、道具を大切に作る心が身につきます。カバンをきれいに並べるのは練習グラウンドだけでなく、遠征先でも同様です。荷物の置き方を見れば「あそこのエリアは田園だ」とわかるようにしたいと考えております。また、「お母さん、水なくなった！」とお子様が駆け寄ってきた場合などは「コーチにお願いしなさい」とグラウンドへ戻るよう促してください。幼児クラスの選手であってもコーチに対して自分が「どうしたい」「どうしてほしい」という気持ちを伝えられるよう成長してほしいとの意図があります。

(1)練習中、試合中の声掛けについて

保護者が気になることは既にグラウンド上でコーチが指摘していることもあります。注意するタイミングを見計らっている場合もあります。気になることがあってもグッとこらえて、選手への声掛けはコーチにお任せいただき、プレー中はもちろん、水を飲む時や待機している時にプレーに関する助言、特に否定的な声掛けは絶対にご遠慮ください。

(2)試合中の応援について

県大会等公式試合、交流試合ではプレーヤーの自己判断力を高められるようにと、ヘッドコーチ以外のプレーの指示は禁止されています。また相手味方関係なく良いプレーには声援を、前向きな応援をという指針があります。どの年代であっても保護者によるプレーの指示、叱責は絶対 NG です。「ナイスタックル！」「ナイスプレー！」などの声援で選手を盛り上げましょう。レフリーの判定に対する意見も NG です。

(3)手伝いについて

「グラウンドでは選手とコーチの世界を作る」との理由から、練習前の道具の準備や練習後の後片付けも保護者の関わりを原則お断りしています。道具の準備、片付けを自主的にやる選手、そうでない選手がいる、そういう場面でもコーチは個性、特徴、振る舞いを見ています。

尚、例外として以下のケースでコーチから依頼があった場合はお手伝いをお願いします。

- ・体調不良(練習への復帰が可能と思われる)の選手の付き添い
- ・どうしてもコーチの手が足りない場合⇒ぜひコーチ、サポートコーチの仲間入りを！

②安全管理について

(1)送迎について

小学2年生以下の選手は安全確保の観点から保護者による送迎をお願いいたします。特に幼児クラスの選手は急な体調変化などの対応のため、練習中もグラウンドで見学していただきますようお願いいたします。中学年以上でグラウンド不在の保護者も常に連絡が取れるようにしておいてください。

(2) スクールの安全対策

◎ヘッドキャップの着用

ラグビーを含め、接触の可能性がある練習、試合時にはヘッドキャップを着用します。
WORLD RUGBY 推奨の物をお買い求めください。

◎マウスガードの装着

田園 RS では小学 3 年生以上の着用を義務化しております。歯科医院で作成を推奨します。(3 年生は 4 月に間に合うようご準備を！)

◎スポーツ安全保険の加入

募集要項、入校申込書記載の通りスクールにて東京海上日動火災保険のスポーツ安全保険に加入手続きをしています。保険料は年会費に含まれます。

怪我の状況や治療の経過などはすみやかにヘッドコーチと共有してください。

③ お手本となる行動を

選手たちが自発的に物事に取り組む、規律を大切にするような環境作りにご協力ください。

保護者もコーチもお手本になる行動を心がけましょう。

- ・目を見てはっきりと挨拶をする、
- ・信号や交通ルールは守る
- ・ゴミや吸殻のポイ捨てはしない
- ・スマホのながら歩きはしない
- ・食事は好き嫌いなく、残さず食べる
などなど

④ 田園スタイルの徹底

練習・試合は田園指定のウェア着用をルールとしております。類似製品の着用は不可です。
スクールが指示したスタイルを守り、だらしない格好にならないようにしましょう。

(例) ストッキングは紺＋折り返し部分は白二本線(三本線、線ナシは不可)

◎試合 「田園スタイル」着用・・・ジャージ、白短パン、紺ストッキング

◎練習 田園ジャージもしくは田園 T シャツ、白短パン、紺ストッキング

- ・夏場はショートソックス可、冬場のウィンドブレーカーは自由
- ・アンダーウェアは黒もしくは短パン、ジャージと同色の白か紺を着用してください。
- ・紺ストッキングは足首までずらして履かず、膝下まであげてきっちり着用させてください。
- ・スパイクは固定式(裏のポイントが交換式のもの以外)を着用させてください。
- ・ジャージ、T シャツの名前ははっきりとわかるように書いてください。薄くなってきたら書き直してください。練習中コーチは選手を名前で呼びますのでわかりやすいように書いてください。
- ・ジャージは名札に名前を書いて前後貼ってください。(ジャージに直接名前を書かない)
練習中コーチは選手を名前で呼びます。選手同士も名前で呼び合うことがとても大切です。
- ・中学も練習、試合の移動時はポロシャツ、ウィンドブレーカー等公式ウェアを着用します。

⑤ 道具を大切に(忘れ物)

すべての持ち物に必ず名前を書いてください。練習時の忘れ物はあざみの不動産などでお預かりする場合がありますが、一定期間持ち主が現れなければ破棄いたします。

遠征先での忘れ物はスクールを越えて連絡を取り合い、受け渡しをしなければなりません。

忘れ物を管理する人の負担も小さくないことをご理解ください。

⑥選手の頑張りをよく見て、褒めてください

我が子に関しては期待が大きい分、粗が目立ってしまうものです。ダメ出しは簡単ですが、褒めること、勇気づけることに徹してください。そのためにも練習中、試合中は選手たちのことをよく見ていてください。

何ができるようになったか、何を頑張ろうとしていたか、褒めたり背中を押したり、ポジティブな言葉をかけられるようしっかり見守ってください。他の選手と比較したダメ出しは厳禁です。

ラグビーは大人でも勇気が必要なスポーツであることを忘れないでください。

⑦夏合宿に関して

小学生は毎年7月最終金～月に長野県菅平高原で夏合宿を行います。1、2年生は学年ごとに宿泊し、“聖地”でラグビー漬けの共同生活を体験してもらいます。

3～6年生は同じ宿舎で縦割りの班に割り振られて生活し、ラグビーの練習や試合以外にも、上級生は自分の事だけではなく下級生の世話をし、下級生はそういう先輩の行動を見て様々なことを学んでもらいます。

合宿はグラウンドでの練習だけでなく3泊4日の生活を共にするため、保護者のお手伝いなしでは成り立ちません。ぜひ参加、お手伝いをお願いします。

合宿中には感動的なエピソード、ほほえましい出来事などたくさん起こります。一度その目撃者になれば、きっと夏合宿が毎年の楽しみになると思います。

尚、宿舎を貸切る都合上、2泊以上の参加をもって正式参加とさせていただきます。

初参加の選手の保護者は必ず事前説明会に参加してください。きょうだいがいる場合はその都度説明会にご参加ください。

中学の夏合宿は4泊5日、小学部のような保護者のお手伝いの必要はありません。

⑧保護者ヘッドについて

スクール内の連携を上手く図るために、毎年各学年(中学は3年から)ひとり保護者ヘッドを決めていただきます。1年間何かと大変だと思いますがご協力をお願いします。

主な役割は事務局メールの配信、集約ごとのとりまとめなど事務局との連携、保護者からの疑問や質問をヘッドコーチと共有、体験や新加入のご家族のフォローなど、保護者とスクールのパイプ役を務めていただいています。

裏方として活躍していただくことでスクール運営を身近に感じることができる、誰もが体験できるわけではない特別な役割です。尚、1人でも多くの方に“貴重な体験”をしていただくために、コーチの家庭は保護者ヘッドを兼任しません。

コーチの役割

多くのコーチは選手の親であり、保護者の皆さんと同じところからスタートしています。コーチになったきっかけは様々ですが、ラグビーを通じて子供たちの成長を実現するために保護者の立場から一歩踏み出した人たちです。そしていわゆる「近所のおっちゃん・おばちゃん」として選手の良いところは褒め、悪いことは真剣に叱り、その成長をいつまでも見届ける存在でいられたらと考えています。

①指導の方針について

「コーチの心得」をもとに、安全を大前提とした指導を心がけています。

- ・子供たちの体力の向上を図る
- ・全ての人々と信頼と友情を深める
- ・次代を担う人間形成を行う
- ・子供たちがラグビーを好きになるように指導する
- ・全てのプレーヤーに公平なチャンスを与える
- ・ボランティアとは自発的に(志願して)という意味であることを忘れない
- ・自ら学ぶことをやめたときはコーチをやめるときである

②担当学年について

田園RSでは「自分の子供は信頼するコーチ仲間に預け、自分が担当する選手はみな自分の子供という意識で真剣に向き合う」ことを大原則としています。自分の子供の学年を担当しないというのは、親の視点で「自分の子供」という選手を見てしまうことを避けるためです。例外として、幼児及び中学部では家庭事情やコーチ人数及び役割が一致した場合、子供と同じ学年を担当することがあります。

2019年度はコーチスタッフ減少によるスクール運営の影響に関して協議を重ね、3年生以上を学年別からカテゴリー別の活動に踏み切り、2学年を取り仕切るヘッドコーチは運営に関わる重要な役割との考えから、田中コーチ、中川コーチには自分の子供が所属する学年を担当してもらうようスクールとして判断いたしました。

また、中学年、高学年のカテゴリー内に自分の子供がいる学年を担当するコーチもいますが、同学年担当にはならないよう配慮しています。

③保護者としての役割(保護者コーチ)

選手が在籍するコーチは保護者の役割も担っています。駐禁当番の免除などの特別扱いはありません。また、自分の子供の学年の飲み会やミーティングには極力参加し、コーチと保護者のパイプ役として活躍してください。

田園 RS が参戦する試合と選手選考について

①参戦する試合について

(1)神奈川県 ミニ県大会

小学 3～6 年生を対象に、学年毎に 1 ブロック 4～5 チームでリーグ戦を行い、それぞれのブロックで優勝を競い合う大会で、全国でも最大かつ最も整備された県内公式戦です。

(2)神奈川県ミニラグビーファイナルカップ

ファイナルカップは毎年 2 月、小学生ラグビーの集大成として、また「中学に入学してもラグビーを続けることが目標になるように」と設立された大会です。県大会とは違い各スクール 1 チームのみのエントリー、スクールが総力を挙げて優勝を目指します。

②チーム編成について ～均等割りの考え方～ mismatches をなくす環境

(1)田園 RS が考える均等割り

田園 RS では「小学生のラグビーは、体が大きい、足が速いなど持って生まれたものが大きく影響するもの。そのときの實力は本人の努力がすべてではない」という観点から、「県大会には 1 軍・2 軍と戦力を偏らせることなく實力均等割りのチームで臨み、チームのために各々が最大限に力を発揮して全チーム優勝を目指す」ことを伝統としてきました。

言い換えると A,B,C どのチームがどのブロックに出ても優勝できるチームを組むことが田園 RS の姿勢です。

(2)変化する少年少女ラグビーの環境

約 10 年前、全国のラグビースクール(高学年)が参加できて、地域を越えて対戦する大会「ヒーローズカップ」がスタート。それまでは地域ごとに交流していた少年少女ラグビーに「小学生日本一」を目標にできる環境が生まれたことで競技の価値観が変わりつつあります。

神奈川県下でもヒーローズカップに参加するチームが増え、日本一を目標とした一軍の強化に注力するチーム作りが主流になっています。

県大会も各スクール實力均等で参加することを趣旨として運営されていましたが、上記のような環境変化に伴い 1 軍、2 軍と實力差があるチーム編成で臨むスクールが多数となり、「上位ブロック」と「上位回避ブロック」でエントリーチームをわけようになりました。

(3)県大会チーム編成について

小学生のうちには体力や精神面の差があり、ラグビーに取り組む条件が様々であることを前提に、安全性の重視、2 か月以上にわたる長い期間を戦い勝ち抜くための組み合わせ(ポジション配置、チームメイトの相性、ひとりひとりの個性、練習参加状況)などをヘッドコーチが総合的に判断し、チーム編成を決定します。

高学年のチーム編成については、対戦チームを分析し体格差や体力差が生じ安全確保が難しいと判断した場合は、mismatches を防ぐためのチーム編成(他とは均等ではないチーム編成)をする場合があります。

但し、上位ブロックエントリーチームだけに力を注ぐようなことはしません。あくまでも全チーム優勝を目標に県大会に臨みます。

どの選手に対しても同じように指導し、ラグビーを通しての心身の成長を望み、ラグビーを好きに、上手になってもらいたいという元来の方針は県大会においても変えることはありません。

③その他の大会

(1)ヒーローズカップ

小学校高学年を対象とし全国のスクールがエントリーできます。11～1月に地方予選を行い、2月の決勝トーナメントでナンバーワンを決める大会です。

田園RSは神奈川県内の県大会とファイナルカップを第一と考え、現状参加していません。

(2)ラグビーマガジンカップ

ラグビーマガジンカップは、日本選手権の前座試合として行われる「ミニラグビー交流試合」の関東・関西・九州各協会の代表を決める大会です。

田園RS恒例の夏合宿1～2週間前に実施されるラグビーマガジンカップは受験への区切りとしてタイミング的に良い事から、2018年度に初めて5・6年生で参加しました。夏合宿に向けてチームワークの向上、高学年としての自覚を促し、他都府県スクールとの新たな交流など得るものが大きいと判断、今後も参加する予定です。

中学生の大会

中学生は3年生を中心にAチームを編成し全国大会を目指し、2年生中心のBチーム、1年生中心のCチームもそれぞれのカテゴリーで県大会、交流試合に臨みます。

(1)神奈川県ジュニア県大会

4～5月に春季県大会、9～11月に秋季県大会が開催されます。

春季県大会は東日本大会、全国大会(太陽生命カップ)の神奈川県代表を決める大切な大会でもあります。

(2)太陽生命カップ(全国中学生ラグビーフットボール大会)

第1ブロック(中学校)、第2ブロック(ラグビースクール)、第3ブロック(女子)のカテゴリーで開催される全国大会で田園RSは第2ブロック、女子選手は神奈川県代表として第3ブロックでの出場を目指します。

この大会に出場するためには春季県大会に優勝し、各都県代表チームが競う東日本大会で3位以内に入ることが条件です。

過去、田園RSは第4回、第7回に出場、神奈川県女子代表は第8回大会で優勝。

田園RSの最大の目標はこの大会での優勝、中学日本一です。

(3)全国ジュニア・ラグビーフットボール大会

年末に実施される、都道府県代表の選抜チームによる全国大会です。神奈川県スクール選抜に選ばれた選手は、田園RSの活動と並行して選抜チームとして全国大会を目指します。

2019年度から神奈川県スクール選抜監督は田園RSの藤井直生コーチが務めています。また、女子選抜チームブロックも実施されており、田園RS女子選手も選抜チーム入りし、全国優勝を成し遂げるために切磋琢磨してきました。

田園ファミリーとして

(1) スクール活動の目的外の告知、宣伝などの禁止

田園 RS はボランティアによる非営利活動で運営しています。練習会場、試合会場、懇親会など田園 RS 公式活動の場において、またはスクール関係のメーリングリストや SNS を使った「スクール活動の目的外の宣伝、告知等」は禁止としています。

(有償・無償を問わず、ラグビー関係の情報が何かあれば HC、事務局に相談ください。)

(2) 田園 RS 公式の飲み会(夏合宿決起会、忘年会、納会)

1 年の節目の際に様々な思いを伝えあい共有する場として設定しております。違う学年の保護者やコーチとコミュニケーションを図ると様々な気づきを得る良い機会になります。

是非とも積極的にご参加ください。

一方で、「有意義な会だとわかっているから参加したいけれど、子供の面倒を見るお母さんにはハードルが高い。」「子供と同伴であれば参加できるのに」という意見もお聞きします。

⇒アルコールが提供される場合は、保護者・コーチで密な会話ができることを目的としています。

子供がいるとどうしても子供中心の会になってしまい、また大人同伴とはいえ夜遅い外出を避けるためにも子供の参加は NG としています。

⇒今後は親子参加型のイベント、お母さん限定の懇親会などをはじめ、多くの人に参加しやすい会も開催して参ります。

以上のガイドラインを参考に、選手、保護者、コーチが三位一体=ONE TEAM となって、楽しく長く田園ラグビースクールライフを送りましょう！

サポートコーチについて

ラグビーワールドカップ日本大会以降のラグビーブームで、田園ラグビースクールにも多くの新入会があり、1学年の人数が今までの2倍近くになっている学年もあります。

そんな中コーチは減少傾向にあり、子供がスクールに所属していないコーチの割合が増えている実情を踏まえ、より多くの保護者にコーチの仲間入りを検討してもらう機会を設けるという意図でサポートコーチ制度を導入します。

子供たちの成長と安全のためにぜひとも力をお貸してください！

①何かしらお手伝いしたい、コーチには興味はあるが少し検討する時間がほしいという方などは「サポートコーチ」に登録をお願いします。

登録前に執行部コーチと顔合わせの機会を設けさせていただきます。

②正式登録しているコーチとサポートコーチの違いは以下の通りです。

- ・HCの指示に従って学年活動をサポートする
- ・選手に対して直接指導しない
- ・サポートコーチ用ビブスを着用する
- ・田園Tシャツを購入、着用する（赤字ジャージはコーチ登録した人のみ）

③サポートコーチの担当はミルキー学年（幼児クラス～小学2年生）に限定する
尚、サポートコーチは自分の子供の学年以外を担当することもできます。

（例）幼児に子供が在籍しているお父さんが2年生のサポートコーチを担当

2年生に子供が在籍しているお母さんが幼児クラスのサポートコーチを担当

④サポートコーチの役割と子供への声かけについてヘッドコーチが明確な指針を伝え、理解した上でサポートコーチを務めてもらいましょう。

⑤サポートコーチはスポーツ保険に加入していただきます。

保険料は実費（2000円程度）お支払いいただきます。

⑥サポートコーチの期限は年度終了時をひとつの目安とし、正式コーチ申込みの検討をお願いします。

⑦サポートコーチもコーチ仲間です。田園の看板を背負っている自覚をお持ちください。

⑧2年生まで子供の学年を担当したけれど3年生になっても家庭の状況が変わらない場合、子供のラグビー継続を優先して、一旦コーチをお休みしていただきます。

（コーチは自分の子供が3年生以上になったら同じ学年を担当しないという原則から）

お子様、ご家庭のコンディションが整った時にはぜひコーチに復帰してください。